

美幌町未来のアスリート応援事業
美幌町育成強化選手奨励金交付式



より大きな舞台で活躍を！

3月30日 育成強化選手奨励金交付式

スポーツ団体などから強化指定を受けた中高生に対して奨励金が交付され、中高生からは「全国大会入賞を目指して頑張りたい」と抱負が述べられました。

びほろ町

ぎがい

3月定例会のあらまし

行政報告・補正予算など	2P
令和4年度予算質疑	4P
決議・意見書	6P

こんなことを聞きました

一般質問	11人登壇	6P
------	-------	----

議会ICT化を推進します

会議システム及びタブレット端末を導入します… 18P

こんなことを決めました

1月臨時会・2月臨時会	20P
-------------	-----

広報の発行は、5月・8月・11月・2月の年4回です。

No.244 令和4年5月1日

◇発行／北海道美幌町議会 ◇編集／議会運営委員会



3月定例会のあらまし

- 【2日】町長から行政報告を受けた後、オホーツク町村公平委員会委員の選任、補正予算など、令和3年度関連議案を審議し、原案どおり可決しました。続いて、令和4年度関連議案を一括上程し、町政執行方針と教育行政執行方針が示された後、議員1名（戸澤）が一般質問に登壇して、まちづくりなどについて活発な議論が交わされました。
- 【3日】議員5名（藤原・木村・馬場・伊藤・松浦）が一般質問に登壇し、健康推進、美幌町の将来像、種イモ確保対策、町長マニフェスト、新型コロナ対策などについて活発な議論が交わされました。
- 【4日】議員5名（上杉・稲垣・大江・坂田・高橋）が一般質問に登壇し、学校ICT教育、町長の政治姿勢、新型コロナ対応、教育行政、町道改良などについて活発な議論が交わされました。その後、1件の決議案を可決しました。
- 【7日】各担当部長から新年度関連議案について説明を受けました。
- 【8、9日】休憩中に各議員が新年度予算案に対する疑問点を整理し、関係部局へ資料を要求しました。
- 【10、11日】議決休会とし、各議員が資料を要求したものに対して関係部局が資料を作成しました。
- 【14、15、16日】新年度予算案など議案に対する質疑を行いました。
- 【17日】新年度予算案に対する質疑を行い、会派等審議を行った後、新年度関連議案の表決が行われ、すべて原案どおり可決しました。その後、町長から追加行政報告を受けた後、1件の意見書案を可決し、定期監査報告などの報告を受け、各常任委員会からの「閉会中の継続調査」の申し出を承認して、全日程を終了し閉会しました。

町長の行政報告（要旨）

◆ご寄附について

本田忠盛様から、町の教育充実のために役立てていただきたいと300万円のご寄附をいただきました。ご厚志をありがたくお受けし、ご趣旨に沿って活用してまいります。

◆新型コロナウイルス感染症対策について

本町では、本年に入り新規感染者の確認がなされ、また町内初となるクラスターが町内の医療機関において発生するなど、本年1月9日以降において、これまでに非常に多くの新規感染者が確認されております。引き続き、多くの町民の皆様へ接種の機会を得て頂けるようワクチン接種の勧奨に努めてまいりますとともに、美幌医師会をはじめ、各方面の皆様との連携と情報交換を図りながら、早期に、速やかに接種を行うことができるよう取り組んでまいります。

今後におきましても、町民皆様の命と健康を守るため、ワクチン接種をはじめとした感染拡大防止対策を積極的に進めながら、あわせて社会経済活動との両立に向け必要な支援策を講じ、1日も早く日常生活を取り戻していけるよう全力を尽くしてまいります。

◆美幌町出身者の北京オリンピック冬季競技大会出場結果について

中国・北京オリンピック冬季競技大会に、美幌町出身の選手2名が日本代表として出場し活躍しました。一戸誠太郎選手（スピードスケート）、石田正子選手（クロスカントリースキー）の輝かしい勇姿は、多くの町民の皆さんに勇気と感動を、そして子ども達に夢と希望を与えていただきました。今後とも、一戸選手、石田選手におかれましては、世界の大舞台でのさらなるご活躍を心からご期待申し上げます。

◆美幌町立国民健康保険病院の医師確保について

令和4年4月1日付けで草野学内科医師を採用しました。今後も引き続き、地域医療を守り、良質な医療サービスを提供するため、必要な医師確保に取り組んでまいります。

令和3年度関連議案

専決処分の承認

- ◆令和3年度美幌町一般会計補正予算（第16号）3,340万円
町道除排雪作業などのため急を要し専決処分をしたことを承認しました。



人事案件

選任の同意、推薦の決定をしました。

- ◆オホーツク町村公平委員会委員 五島 巧氏(新) ◆固定資産評価審査委員会委員 原 智晴氏(再) ◆人権擁護委員 奎 師 美和子氏(再)

補正予算

令和3年度補正予算（一般会計・4特別会計・2事業会計）はすべて原案どおり可決しました。
主な内容は次のとおりです。

◆一般会計

地方交付税の追加交付に伴う財政調整基金への積立金 1億1,228万円
新型コロナウイルス感染拡大防止に係る抗原検査キットの追加購入経費 326万7千円 の増額など

◆特別会計・企業会計

- ・国民健康保険特別会計
直営診療施設繰出金の増額など
- ・介護保険特別会計
施設介護サービス給付事業負担金の減額など
- ・公共下水道特別会計
建設事業費の確定に伴う減額など
- ・個別排水処理特別会計
個別浄化槽設置工事費の確定に伴う減額
- ・水道事業特別会計
水道管路整備事業費等の確定に伴う予算整理
- ・病院事業特別会計
新型コロナウイルスワクチン接種等に係る予算整理

各会計補正額と補正後の総額

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計（第17号）	4,914万2千円	123億6,855万6千円
国民健康保険特別会計（第3号）	735万6千円	26億3,209万5千円
介護保険特別会計（第4号）	△3,049万4千円	20億5,557万6千円
公共下水道特別会計（第3号）	△2,647万5千円	10億9,136万6千円
個別排水処理特別会計（第2号）	△157万円	1億1,603万5千円
水道事業会計（第2号）	△3,183万6千円	13億9,638万7千円
病院事業会計（第2号）	△873万円	23億9,914万円

※（ ）内は、補正回数

令和4年度関連議案

条例改正

すべて原案どおり可決しました。
主な内容は次のとおりです。

- ◆美幌町みどりの村条例の一部改正
休憩施設を移住相談施設に活用するため、みどりの村の施設から除く改正など
- ◆美幌町奨学金条例の一部改正
奨学金の利用向上を図り、更なる教育環境を整えることを目的に貸付上限額及び償還期間を改正

指定管理者の指定

すべて原案どおり可決しました。
（ ）内が選定された指定管理者

- ◆美幌峠レストハウス展望休憩室（美幌商工会議所）
◆美幌ターミナル物産センター（美幌観光物産協会）
◆美幌みどりの村（一般財団法人美幌みどりの村振興公社）



美幌峠レストハウス展望休憩室

そのほか、令和3年度関連議案として町道路線の廃止及び条例改正を、令和4年度関連議案として規約の変更が審議され、すべて原案どおり可決しました。

令和4年度当初予算こんなことを決めました

一般会計116億5千415万2千円

新型コロナウイルス感染症対策及びワクチン接種経費、次期廃棄物処理施設の整備、移住定住施策の充実など

総務費

移住相談等環境構築業務委託料
(1億47万1千円)

問 事業内容は。

答 多様な働き方に対応するため、移住相談者やサテライトオフィス契約企業、地元住民などの多様な主体による交流を通じたコミュニティ活性化と移住定住を促進することを目的として、美幌みどりの村敷地内にある休憩施設を移住相談施設へ改



美幌みどりの村休憩施設

修したうえで、移住相談業務を実施するものである。

拠点倉庫とする。

民生費

庁舎防災資機材備蓄倉庫建設工事
(4618万2千円)

問 事業内容は。

答 避難所開設に必要となる資機材などを迅速に運搬するためには限られた人員から庁舎の隣接地が理想であり、庁舎改築にあたり北側敷地が利用可能となったことから建設するものである。新設する倉庫には避難所開設の際、一次的に使用する資機材を集約し即時搬送するための



介護サービス提供基盤等整備事業費補助金
(4729万3千円)

問 補助金の内容は。

答 令和5年4月開設予定の小規模多機能型居宅介護施設の整備にかかる北海道からの間接補助金として、地域密着型サービス等整備等助成事業、介護施設等の施設開設準備経費等支援事業などを補助するものである。



衛生費

一般廃棄物処理広域化基本計画策定業務負担金
(151万5千円)

問 事業内容は。

答 1市4町（網走市、斜里町、清水町、大空町、美幌町）で構成する斜網ブロック内の一般廃棄物処理に対する基本的な考え方を調整及び統合し、一般廃棄物の可燃ごみなどの適正な処理を検討するため、構成市町の関連計画を踏まえた中で、ごみ処理発生量及び処理量の見込み、ごみの排出抑制のための方策に関する事項などを整理し、圏域としての「一般廃棄物処理広域化基本計画」を策定するものである。

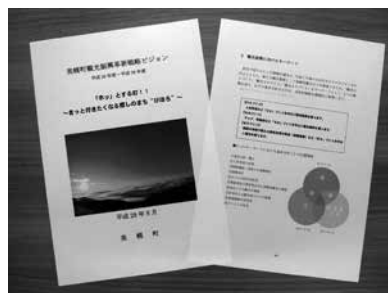
一般会計歳出予算と主な事業 ◆新規事業 ◇拡充事業 (対前年比)

議会費	7,958万2千円	(△2.3%)
総務費	8億9,831万3千円	(△5.6%)
◆移住相談等環境構築業務委託料	1億47万1千円	
◆デマンドバス運行実証実験業務委託料	548万7千円	
◆庁舎防災資機材備蓄倉庫建設	4,618万2千円	
◆デジタルトランスフォーメーション対策業務委託料	1,921万8千円	
民生費	27億1,413万9千円	(4.9%)
◆コミュニティセンタートイレ洋式化改修工事	770万3千円	
◆介護サービス提供基盤等整備事業費補助金	4,729万3千円	
衛生費	12億7,580万4千円	(10.5%)
◆ごみ減容化等のための機械・車両	8,173万円	
◆第IV期最終処分場整備計画策定業務委託料	2,993万1千円	
労働費	2,448万2千円	(△4.8%)
農林水産業費	7億1,731万5千円	(12.2%)
◆砂糖消費拡大PR事業	140万7千円	

商工費	5億1,400万5千円	(3.4%)
◇観光物産協会補助金	1,313万4千円	
◇体験観光推進事業	1,424万1千円	
土木費	12億665万1千円	(8.0%)
◆稲美橋補修工事	4,600万円	
◆都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定業務委託料	1,050万円	
消防費	4億4,977万1千円	(5.0%)
教育費	8億6,866万9千円	(14.5%)
◇美幌高等学校教育支援事業補助金	912万1千円	
◇小学校ICT教育環境整備事業	2,628万9千円	
◇中学校ICT教育環境整備事業	1,156万5千円	
公債費	10億2,790万9千円	(3.5%)
職員給与費	18億7,651万2千円	(△2.2%)
予備費	100万円	(0.0%)
合計	116億5,415万2千円	(4.5%)



農林水産業費
砂糖消費拡大PR事業
(140万7千円)
問 事業内容は、
答 新型コロナウイルス感染症の影響による砂糖の消費が大きく落ち込んでおり、主な原因はお土産品の生産減や外食産業での消費低迷となっている。日本甜菜製糖(株)美幌製糖所が所在する当町において、砂糖消費拡大PRを行うことで、砂糖消費の回復を図ろうとするものである。



観光振興革新戦略ビジョン

商工費
観光物産協会補助金
(1313万4千円)
問 補助金の内容は。
答 地域資源を活用した体験コンテンツの発掘及び教育旅行の推進並びに誘客企画事業などを引継ぎ、美幌町観光振興革新戦略ビジョンに掲げられた事項を継続して取り組み、観光物産振興事業の推進を図るため、観光まちづくり協議会との統合に伴い予算を増額するものである。

体験観光推進事業
(1424万1千円)
問 事業内容は。
答 個人事業主としてガイド資格取得や新たな体験観光メニューの開発、ガイド仲間との協力体制確立など、今後の美幌町の体験型観光の推進を図るものである。

土木費
都市計画マスタープラン・立地適正化計画策定業務委託料
(1050万円)
問 業務内容は。
答 現況及び住民意向の把握と分析、住民との合意形成に時間を要することから、2年を策定期間として想定しており、令和4年度は①現状分析、関連計画・施策などの整理、②住民意向調査の実施、③



美幌高校

教育費
美幌高等学校教育支援事業補助金
(912万1千円)
問 補助金の内容は。
答 前年度の事業を継続するとともに、令和4年度から1年生の希望者に対するオンライン学習利用料補助を拡充し、新規に道外生徒帰省費補助及び魅力化サポート事業を実施するものである。

現状及び将来見通しにおける課題の分析などを業務委託するものである。

1 件の決議案を可決し関係機関へ提出

令和4年3月定例会では、1件の決議案を可決し関係機関へ提出しました。主な内容は次のとおりです。

ロシア連邦によるウクライナ侵略を厳しく非難し、平和的解決を強く求める決議（要旨）

本年2月24日から開始されたロシア連邦によるウクライナへの侵略は、国際社会の平和と安全を著しく損なう暴挙であり、「核兵器の先制使用」とのプーチン大統領の発言に至っては世界で唯一の被爆国・日本にとって絶対に許しがたいものであり、即刻撤回を求めるものである。このような力による一方的な現状変更の試みは国際秩序の根幹を揺るがす明白な国際法違反であり、断じて許すことはできない。

よって、美幌町議会は、ロシア連邦によるウクライナ侵略を厳しく非難するとともに、国際法を遵守し、軍の即時撤退と平和的解決を行うよう強く求める。



【提出先】ロシア連邦大統領

1 件の意見書案を可決し関係機関へ提出

令和4年3月定例会では、4件の意見書の提出を求める要請・陳情のうち、1件の意見書案を可決し国などの関係機関へ提出しました。主な内容は次のとおりです。

地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書（要旨）

- 1 カーボンニュートラルの実現を着実に行うこと。
- 2 海水温上昇に伴う水産漁業等被害の実態調査を行うこと。
- 3 被害対策の策定と支援を行うこと。
- 4 長期的な水産振興策の策定と支援を行うこと。
- 5 赤潮発生による被害対策と漁業支援及び地域支援を行うこと。
- 6 コロナ禍において、飲食店自主規制により魚価安のダメージを受けている水産漁業関連、地域経済に対し、緊急の経済支援策を行うこと。



【提出先】内閣総理大臣 外

こんなことを決めました

一般質問

一般質問には11人が登壇

質問者と質問項目

■上杉 晃史 議員 ……………13頁 ① 学校ICT教育の推進 ② 移住定住促進施策の拡充 ③ 新たな農業の担い手	■松浦 和浩 議員 ……………12頁 ① 新型コロナウイルス感染症対策 ② コロナフレイルの確立と対策 ③ 立地適正化計画の策定 ④ 令和4年度予算案の税収見込み	■伊藤 伸司 議員 ……………11頁 ① 町長マニフェスト ② 道立美幌高校の支援	■馬場 博美 議員 ……………10頁 ① 種イモの確保対策 ② まちなか賑わいの施設整備 ③ 社会教育施設環境の整備充実	■木村 利昭 議員 ……………9頁 ① 美幌町の目指す将来像	■藤原 公一 議員 ……………8頁 ① 健康推進 ② 公立学校整備事業	■戸澤 義典 議員 ……………7頁 ① 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり	■稲垣 淳一 議員 ……………14頁 ① 町長の政治姿勢 ② 町道の安全管理 ③ 教員住宅の管理	■大江 道男 議員 ……………15頁 ① 新型コロナウイルス感染症対応 ② 生理の貧困への対応	■坂田 美栄子 議員 ……………16頁 ① 福祉行政 ② 住宅政策	■高橋 秀明 議員 ……………17頁 ① 町道第770号道路の改良 ② 役場窓口機能の充実強化 ③ 地域経済の活性化
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

一般質問とは

一般質問は定例会において、議員が町政全般にわたり執行機関（町や教育委員会など）に対し、事務執行の状況や将来に対する方針の考え方、疑問点などについて質問するものです。

一般質問は議員固有の権限の一つで、議案審議とともに議会活動の中にあつて最も重要なものであり、行政の執行を監視し、建設的に政策を論議することで、公正な行政を確保するものです。

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



まちづくり

問

今後のにぎわい再生プロジェクトは

戸澤

義典議員

答

ハード整備だけではなくソフト施策とあわせて考えていく必要がある

ちなか・にぎわい再生の現状分析及び今後の再生プロジェクトは。

答 大規模小売店舗の進出や町外への消費流出により、中心市街地の空き店舗の増加による空洞化が進んでいる状況であることから、賑わいを取り戻し活性化を促進することが課題である。町としては、市街地再整備はハード整備だけではなくソフト施策とあわせて考えていく必要がある。商工会議所をはじめとした関係団体と連携を図りながら進める必要があると考えている。

問 第6期美幌町総合計画では5つの基本目標の1つとして「住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり」を掲げている。その中に「交通の利便性やコンパクトシティである強みをさらに高めるため、中長期的な視点を持ちながら、まちなかに人が集まりやすい環境を整え、にぎわいを再生します。」とあるが、ま

公共建築物縮減目標達成は

問 平成29年3月に策定した美幌町公

共施設等総合管理計

画の中の「ひとがつ

ながる場所（まち）

の実現」の1つに公

共建築物縮減目標

30%を掲げ、使用で

きない建物は解体す

るとある。昨年度は

役場庁舎建替や地域

振興センターの除却

に伴い、しゃきつと

プラザなどへの集約

があった一方で、屋

内多目的運動場の建

設や役場庁舎建替え

時は複合化や統合な

どがされている。い

目標達成に向けた現

状分析と今後の考え

は。

答 公共施設等の総

量最適化のために、

複合化・多機能化・

統合・広域化・廃止

するなど、目標達成

に向けて進める考え

に変わりはなく、図

書館は複合化の検討

を、公営住宅は長寿

命化計画により管理

戸数の縮減を、ごみ

処理施設は近隣市町

との広域化による中

間処理施設の整備を

検討している。

子どもが集える公園を

問 都会ではスケー

トボードができる公

園なども増えており、

既存の公園や緑地の

整備だけで十分か。

新たな発想で「身近

なところで自然やう

るおいを感じられる

空間や景観を増やし、

子ども達が安心して

自由に集まれる環境

をつくる」べきでは

答 「美幌町公園施設長寿命化計画」に

基づき、平成28年か

ら4ヶ年で4公園の

遊具を更新し、公園

施設の修繕も継続し

ている。新たな公園

整備の計画はないが、

毎年度実施している

遊具などの法定点検

結果を基に改築・修

繕を行うとともに、

公園樹木の管理を徹

底して、安全で安心

して利用できる公園

の提供を継続してま

いりたい。



公園

一般質問

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



ワクチン接種 問

美幌町での带状疱疹ワクチンの周知は

藤原

公一議員

答

老人クラブや自治会などの依頼による健康教育において説明を行っている

国は定期接種化に向けた検討を進めていたが、新型コロナウイルスの影響により継続審議扱いのままとなっている。今後、国の検討状況及び近隣市町村の状況を見極めて対応したい。

HPVワクチンの勧奨は

問 令和3年12月、厚生労働省はHPVワクチンの個別勧奨の実施などについて通知し、市町村の役割としてヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種の対象者または保護者に対して接種を判断するための有効性・安全性に関する情報を提供するとともに、

個別勧奨を進めるとしている。美幌町での周知は。また、積極的勧奨についての考えは。

答 令和3年度の調査会においてワクチン接種による有効性が副反応のリスクを上回ることが認められた。今後、個別通知を中心に広報紙



及びホームページなどでワクチンの有効性・安全性に関する情報を提供しながら勧奨を進めてまいりたい。

公共学校整備

危険箇所の点検は

問 小中学校を含め老朽化が進む危険箇所の点検は。また、非構造部材の耐震対策は。

答 建築基準法で定められている特定建築物定期報告制度により3年毎に調査を実施している。令和3年3月の「美幌町学校施設長寿命化計画」策定時に外壁や天井など専門業者による建物の点検を実施し、概ね良好であった。

問 学校は避難所として安全で利用し

改修計画は

やすい場所でないければならず、防災機能強化のため、バリアフリー対策、空調、換気設備、トイレ改修などが必要と考えるが、今後の計画は。

答 現時点で防災機能強化のための学校施設改修は計画していないが、関係部局と連携しながら必要に応じて対応したい。

脱炭素化計画は

問 学校施設のZEB化（高断熱、LED照明、高効率空調）など、今後の脱炭素化に向けた計画は。

答 学校施設のZEB化には建物の断熱化や省エネ機器の設置など多額の費用が発生するため、現状として計画はしていない。

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



まちの将来像 問 美幌町をどういったまちにしていきたいのか

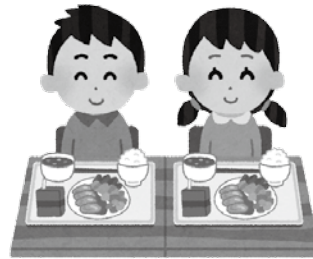
木村
利昭
議員

答

未来を担う次世代が育つ環境にあるまちを
実現し美幌町の未来を切り拓いてまいりたい

問 美幌町の人口は1万9千人を切り、高齢化率も36%と決して低くなく、今後も少子高齢化には歯止めが掛からないことが目に見えている。私は令和元年5月からこれまでの3年間で31項目、テーマは「子育て支援」、「移住定住促進」、「観光・経済対策」、「人材育成」、「学校支援」、「不妊治療支援」、「雇用促進」、「情報発信」

など、次世代の美幌町のために特に重要だと考える項目の質問を行ってきた。しかし、町長からの答弁では、ほぼすべてにおいて「重要性の認識はある」とされているが、次世代のまちづくりに向けた明確な施策案や対応策については示されず、また美幌町の目指す方向性についても感じられる答弁が無かったように受け止めている。今任期最後となる4年目を迎える町長に「これからの美幌町をどういったまちにしていきたいと考えているのか」、「次世代のた



めの福祉をどのように考えているのか」について、単刀直入にお尋ねしたい。

答 「子育て支援」などの各種施策は「第6期美幌町総合計画」をはじめとした各種計画と、3歳から5歳までの幼稚園、保育園における給食費の無償化などの子育て支援策をはじめとした「町長の重点政策」に基づい

て各種施策を実施している。「これからの美幌町をどういったまちにしていきたいと考えているのか」、「次世代のための福祉をどのように考えているのか」については、第1に「元気で活力のあるまち」、「未来を担う次世代が育つ環境にあるまち」を実現することで「次世代に向けたまちづくり」につながっていくものと考えている。第2にその実現に向けた具体策として、これまで取り組んできた「町長の重点政策」である「子育て支援」、「教育の充実」などの継続実施に加えて、新たに「移住相談拠点の整備」を通じた移住促進と関係人口の創出

や「30人以下学級」の小学校1年生への実施、「未来のアスリート、アーティストの応援」を通じた人材育成を行うなど、令和4年度の重点施策を組み合わせて実施することによって、継続性と発展性のある事業を展開し、「ふるさと美幌」の福祉と教育の増進と発展を図り、美幌町の未来を切り拓いてまいりたい。



一般質問

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



農家支援

馬場

博美議員

答

問 今後の種イモ確保対策は

関係機関と十分連携して種イモ確保に努めたい

は。また、今後の将来的な種イモ確保対策の考えは。

問 後継者不足により10年前に比べ種イモ農家の戸数及び耕作面積が減少したこと、干ばつなどにより種イモが不足している。そのため、種イモのシステムなどに、種イモやウイルス病などに対する農薬に一部補助している「一般農作物原・採種圃設置事業」の病害虫対策費などを見直し、現在の種イモ農家を守るべきで

答 農作物の安定生産と品質保持を図るためには優良種子の確保が重要であることから、種イモのほか小麦と豆類の種子を対象に、JAびほろと共に「一般農作物原・採種圃設置事業」により原採種圃を設置する生産者に対して病害虫対策費と圃場管理費の一部を補助している。今後もJAびほろなどの関係機関と十分連携し、適切な圃場管理や労働負担軽減などの現状分析や問題点の協議を行い、種

イモ確保に努めたい。
まちなか賑わい

施設整備は

問 近年では中心市街地における居住人口の減少、空き店舗の増加をはじめとする商業機能の低下など、中心市街地の空洞化が深刻化している。町内の市街地にただ泊まるホテルではなく、美幌町やオホーツクの魅力を活かした滞在型のシティホテルを誘致し、その上で第2の道の駅やコミュニティ施設などを含めた複合施設のまちなか賑わい整備に向けて、関係団体及び民間の協力を得て早急に対応

すべきでは。

答 町内の関係団体とも協議しながら

美幌町の立地条件や観光資源に適した宿泊施設の誘致に全力で取り組む。「複合施設のまちなか賑わい整備」は選択肢の1つであると考えており、情勢を見極めながら美幌町に相応しい取組を総合的に判断してまいりたい。

社会教育施設等長寿命化計画

改修計画は

問 令和4年3月策定の美幌町社会教育施設等長寿命化計画期間内におけるマナビティーセンター、図書館、博物館、トレーニングセンターを含めた13施設の具体的な改修計画は。

答 マナビティーセンターは陶芸窯の年次的な更新及び玄

関スロープ屋根の雨漏り修繕を実施する。図書館は老朽化が進み施設機能も不足しており、現在新たな図書館整備に向けた検討を進めている。

博物館は屋根及び外壁などの修繕を令和7年度までの計画で年次的に進める。トレーニングセンターはトレーニングルームの自立壁の耐震補強や旧ボイラー煙突の撤去などと併せて改修を計画している。



図書館

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



町長マニフェスト

伊藤 伸司 議員

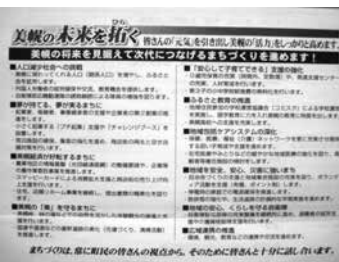
答

問 マニフェスト達成に向けての進め方は

6つの未実施施策は新年度に取り組む

答 選挙公約である「町長の重点政策」

は「美幌の活力を高め、次代につなげるまちづくり」の実現のため、「子育て支援」、「教育」、「福祉」の充実を図りながら、3歳から5歳までの幼稚園、保育園における給食費の無償化など、42の施策を掲げて取り組んでおり、このうち36の施策は既に実施している。また、未実施となっている6つの施策は新年度に取り組む予定であり、宿泊施設の誘致は最優先課題として全力で取り組み。任期中最後の本格予算となる令和4年度は「町長の重点政策」の推進に加えて、「移住相談拠点整備」を通じた移住促進と関係人口の創出により、事業間の連携や相乗効果と継続性及び発展性のある事業を展開し、「ひとつがつながる」、「みらいへつなげる」施策を着実に実行してまいりたい。



マニフェスト

美幌高校

支援拡充策は

問 令和3年9月、北海道教育委員会は令和4年度から6年度における公立高等学校配置計画案を発表し、美幌高等学校においては令和5年度より農業科2学級を1学級とし「未来農業科」に再編すると公表した。また、普通科2間口についても検討するとなっており間口削減が危惧されている。美幌町における支援拡充策は。

答 令和3年度に実施した寄宿舎運営費や生徒募集経費、学習環境整備や魅力発信事業への補助、タブレット端末の貸与などの支援に加えて、道外生徒の帰省費補助、外部アドバ

イザーによる魅力化サポート、オンライン学習利用料補助の1年生への拡大を実施する。生徒確保のためには何より美幌高等学校を生徒・保護者に知ってもらい、魅力のある学校にすることが必要不可欠である。美幌高等学校を先頭に美幌高等学校教育振興対策協議会・町が連携し一丸となった取組を進め、1人でも多くの入学者を確保し、町内唯一の高等学校が存続・発展できるように努めたい。



美幌高校

一般質問

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



松浦
和浩議員

コロナウイルス 問 感染拡大の対処について議会へ報告できないか

感染の発生原因や状況、情報の公表は北海道が責任を持って住民に行っている。

せすべき感染対策や心構えなどを報道、ホームページ、広告などでお知らせしている。

感染対策の早期実施は

問 感染対策として予定している予算は今執行すべきでは。

答 感染防止と町内経済、町民生活を守るため、必要な対策を実行すべきときには、財政調整基金を投入するなど機動的に対処していく。

事業支援金の対策は

問 なぜ社会福祉事業者はコロナ対策感染予防事業支援金の対象とならないのか。

答 対象者は中小

企業基本法に定める中小企業者を要件としている。社会福祉法人は社会福祉事業者を対象とした国の直接的な補助制度による支援を受けることが可能である。

コロナフレイル

早期発見は

問 コロナフレイルの早期発見は医療、介護の対策としても重要な要素では。

答 介護予防の観点からフレイル対策は重要と認識しており、地域包括支援センター職員による相談・訪問支援業務をはじめ民生委員による高齢者宅への訪問、保健師による健

康相談などを通じ、生活支援や運動支援、栄養指導などのフレイル対策を講じていく。

ニューノーマルへの対応は

問 食生活での栄養確保、体力減退を防ぐ運動の推進、人と人の健康維持のコミュニティの場の創設が必要では。

答 まずは新型コロナウイルスの終息に向けた対策などをしっかり講じていく。

立地適正化計画

方針変更の理由は

問 以前質問したところ計画策定の考えはないとの答弁であったが、なぜ方針を変更したのか。

答 市街地の賑わいを取り戻すには街並みや市街地の施設配置の再評価を行い、予定される公共施設

の配置、核となる施設の検討などの対策が必要であり、立地適正化計画を策定し、国の財政支援を受けて進めていきたい。

脱炭素先行地域への公募は

問 国は脱炭素先行地域の公募を始めたが、町の見解は。

答 一定の整理ができた時点で判断をしたい。

観光事業予算

費用対効果は

問 収益事業として町税執行の費用対効果は。

答 具体的な統計資料は無いが、体験・滞留型観光やイベントを通じた美幌町の魅力発信と認知拡大による効果は重要な要素であり、費用対効果などでは推し測れないと考えている。

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



学校ICT教育 問 学校ICT支援員を地域おこし協力隊として募集しては

上杉

晃央議員

答



美幌町にあったオンライン授業の推進方策を見い出したい

問 美幌町ではタブレットなど設備のハード面は整備できたが、タブレットなどを活用する教員側の対応が難しく、学級閉鎖時でのオンライン授業の実施には至っていない。環境づくりにはICT支援員などの人材確保、オンライン授業を円滑に行う教員のスキルが必要であるが、道内でも学校ICT支援員を地域おこし

協力隊として募集する教育委員会がある。地域おこし協力隊員の募集などの方策は。
答 学校現場ではICTに長けている教員を中心に校内での研修を積み重ね、教育委員会としても専門業者によるヘルプデスクを設置してタブレット端末取扱いや学習活動実施におけるサポート体制を整えているところ。地域おこし協力隊によるICT支援業務の推進も1つの手法であり、美幌町にあったオンライン授業の推進方策を見い出したい。

移住定住促進

支援策の拡充は

問 美幌町では移住希望者のため、起業支援、店舗の経営強化支援、新規就農支援、医療従事者・介護従事者の就業支援、住宅新築時の町産材活用支援、住宅リフォーム支援、ペレットストーブ購入支援、妊産婦の各種支援、子育て一時預かり支援、子ども医療費支援と多彩な支援策が用意されているが、移住を希望している方が一歩踏み出すことのできる支援策の拡充は。

答 令和4年度は移住相談拠点の整備

と運営を委託して「仕事の魅力」などの3つの取組を強化することで、交流人口及び関係人口を創出し、移住定住の促進につなげていきたい。令和3年度から新たに空き家の取り壊しに対する支援として、取り壊し後2年以内に住宅を新築される方を対象に通常の取り壊し支援である「一般型」よりも更に補助額を加算した「新築型」として重点的な支援を実施している。

新たな農業の担い手

半農半Xの推進は

問 コロナ禍によるリモートワークの普及により都会での仕事を田舎で行うハードルはかなり低くなっている。町としてJAびほろをはじめ農業関係機関と連携し、「半農半X」を積極的に取り組んでは。

答 美幌町における新規就農者の育成は、約1万ヘクタールを有する地域農業の現状に即した農地の流動化と生産基盤の維持発展を促進するため、優良経営をされていた離農者から経営を引き継ぐ専業農家の育成を優先的に進めていることから、現状では半農半Xの新規就農者を育成する考えはない。



移住定住ガイドブック

一般質問

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



町長の政治姿勢 問

稲垣

淳一議員

答



令和2年国政調査の結果への対応は

重点施策「移住相談拠点の整備」を通じて
移住促進と関係人口の創出を図っていく

問 昨年末に令和2年国勢調査結果の確定値が公表され、美幌町の人口は1万8千697人、前回（平成27年）調査から1千599人（7.9%）の減少となった。平野町政の仕上げの4年目を迎え、どのような観点から町の舵取りをしていくのか。

答 国勢調査の結果は「第2期美幌町まち・ひと・しごと創

生総合戦略」においてもほぼ同様の推計を行っていたところ。任期中で最後の本格予算となる令和4年度は「町長の重点政策」の着実な実施に加えて「移住相談拠点の整備」を通じて移住促進と関係人口の創出を図っていく。人口減少は避けることのできない大きな課題であるが、これまで実施してきた事業との連携や相乗効果、さらには継続性及び発展性のある事業展開を図り「次世代に向けたまちづくり」につなぎ、美幌町の未来を切り拓いてまいりたい。



移住相談拠点整備

町道の安全管理

大正橋の管理体制は

問 大正橋を通過する交通量は増加の一途をたどり、交通事故が多発している。多くの町民が一日も早い整備を求めているが町の考えは。

答 橋梁の架替えには多額の事業費と車両通行の確保などの課題がある。また、橋梁前後の道路も交通安全対策として線

形改良の検討を行うなど、橋と道路一体となった整備が望ましいと考えている。現状の交通量や求められる橋梁・道路整備などの事業規模から、道道昇格による事業着手が相応しいと考えており、網走建設管理部主催の社会資本整備推進会議において道道昇格の要望を継続している。本路線は大型車両を含め交通量が多い重要路線と認識しており、スリップ事故防止のため頻繁に砂散布を行い、幅が狭くならないようグレーダーによる路面整正に努めるとともに、大正橋前のカーブには路面が滑る旨の看板を設置し注意喚起を図っている。

教員住宅の管理

運用方法は

問 教職員の管理職は学校敷地内の住宅に住んでいるが、築30年から40年を超える住宅が大半を占めている。建替えをする考えは。また、管理職が学校の敷地内居住を続けなければならぬ理由は。

答 入居を義務付ける明文化されたものはないが、全小中学校の校長・教頭が入居している。また、建築から30年以上経過して老朽化が進んでいるため、令和元年度の旭小学校教頭住宅をはじめとして、建築年や住宅の損傷程度を考慮しながら毎年度計画的に修繕を進めており、建替えの考えはない。

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



コロナウイルス 問

大江
道男議員

答

第6波感染拡大に対する町長の見解は

町民の皆様には引き続き感染対策の徹底をお願いしたい

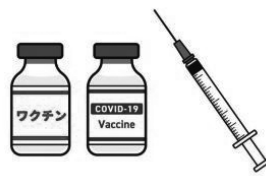
療養者に対する毎日の健康観察が適正に行われているのか。

答 北見保健所職員が健康状態を確認しているが、保健所職員による対応が間に合わない場合は、オホーツク総合振興局からの要請により、近隣市町の保健師などを北見保健所へ派遣し対応している。

問 定期検査の実施は12歳未満児のワクチン未接種や子どもの感染が保護者の就労を阻害することとが問題となっている。国や北海道に対して教職員への週1回程度の定期検査を求めるとともに、町

独自でも定期検査を実施すべきでは。

答 国保病院において3月15日からワクチン接種が開始する。まずはワクチン接種を進め、町独自による定期検査の実施は考えていない。



問 12歳未満児世帯への配布は美幌町でも12歳未満児世帯への抗原検査キットの配布に踏み切るべきでは。

答 感染状況が安定するまで、町民の皆様の不安を解消する

ため、必要に応じて年齢に係らず希望者に配布している。

事業者支援金の改善は

問 収入が大きく減少した事業者を支援する制度が「事業主が被扶養者の場合は非該当」となっている。改善すべきでは。

答 商工会議所とも十分に協議を重ね、対象者は中小企業者のうち事業収入で生計を営んでいる事業主を支援する観点から制度化したのでご理解願いたい。

学校女子トイレ

生理用品の配置は

問 学校女子トイレに生理用品の配置を求める声を紹介してきたが、従来どおり保健室で支給する方針を踏襲する根拠は。また、子どもの

権利条約に即して学校トイレに生理用品を配置すべきでは。

答 新年度より試行的に各小中学校の女子トイレに配置する。保健室での配布は継続し、家庭や心身の状況も把握しながら悩みや心配事の相談につなげていきたい。

問 国の補助金活用の積極的配布などで女性活躍推進交付金などの活用を進めているが、美幌町も国の補助金を活用しては。

答 国の補助金活用による配布を今後検討したい。民生児童委員の協力のもと実態把握に努め、女性に寄り添った支援の輪を充実させることで解決を図りたい。

一般質問

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



教育行政 問 美幌町の子ども達の体力は

坂田

美栄子 議員

答



問 スポーツ庁は昨年12月、令和3年度の全国体力・運動能力調査の結果を公表した。体力は小中学生の男女ともに低下し、肥満割合が増加した。コロナ禍の行動制限で運動時間が減少したことやスマートフォン視聴時間が延びたことが影響していると思われるが、美幌町の子ども達の体力はどのような状況か。ま

全国と比較すると体力的に大きな差は認められない

た、今後の取組は。

答 美幌町と全国を比較すると体力的に大きな差は認められない結果となっている。各学校でのマラソン記録会前の持久走やどさん子元氣アップチャレンジによる縄跳びなど、体育の授業以外で体力・運動能力向上の取組を実施したことにより体力・運動能



力の低下が抑えられたと考えている。調査の分析から体力向上プランを作成し、体育の授業や朝学習時間・休み時間における運動量の確保や家庭と連携した生活習慣の改善を図るとともに、部活動・少年団活動を奨励したい。体力は人間の発達成長を支える基本的な要素であり活動の源であること、また、健康維持や意欲・気力の充実に欠かせないものであり、たくましく生きぬくため体力の向上に努めたい。

公営住宅

運用方法は

問 住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくりには公

営住宅の空室状況など情報をホームページに掲載すべきでは。また、公営住宅に空室があっても2カ月に一度の入居者選考委員会では入居までに時間がかかり、美幌町に住みたいと思っても希望が叶わず、他市町村に移住されるケースもある。条例遵守、公平性の確保は必要であるが、現に住宅確保に困っている人のために柔軟な運用も必要では。

答 公営住宅空室状況は窓口で公表しており、入居相談や申込時に周知しているところ。ホームページへの掲載につ

いても実施したい。公営住宅の入居者選考は空き住宅の清掃及び修繕に一定の期間を必要とし、申込者が希望する団地や階数に入居可能な住宅が確保できた段階で、概ね2カ月に1回開催している状況である。しかし、火災や地震など自然災害により住宅を滅失した場合は、美幌町営住宅管理条例第5条の規定により公募を行わずに随時入居の判断をしている。



公営住宅

各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスできます。



町道改良

問

大正橋の架替え並びに町道第770号道路改良は

高橋

秀明議員

答

多額の事業費と車両通行の確保など
橋と道路一体となった検討・整備が望ましい



【答】 交通量の増加、

大正橋手前カーブの危険性、大正橋の幅員が狭いことによる危険な状態は認識しており、スリップ事故防止のため砂散布を行い、幅が狭くならないようグレーダーによる路面整正に努めるとともに、大正橋手前のカーブには看板を設置し注意喚起を図っている。車両のより安全な通行を確保するため、大正橋の架替え並びに町道第770号の改良が必要であり、多額の事業費と車両通行の確保、交通安全対策としてどのような道路線形が可能な



大正橋

【窓】機能充実強化

ワンストップサービスの導入は

【問】 新庁舎建設により分散化は解消されたが、転入届を提出する場合、水道、

国民健康保険、児童手当、学校転入などの手続きに別々の窓口に行かなければならない。複数の手続きが一度で済む「ワンストップサービス」の導入は。また、書く手間を省き、印刷された書面を本人が確認して署名をすれば手続きが完了する「書かない窓口」の導入は。

【答】 来庁のお客様が移動せず担当する複数の職員がローテーションしながら対応するよう窓口改善に努めてきたところ。「書かない窓口」は北見市をはじめ他の先進自治体の視察を行い検討してきたところ。来庁のお客様のさらなる負担軽減の手法について引き続き検討したい。

中心市街地活性化

方向性は

【問】 コロナ禍によりさらに経済が縮小している。観光政策も含めた中心市街地活性化の方向性は。

【答】 商工会議所や連合商店会と意見交換を行い、商店街のコミュニティスペース設置に対する支援や商店街を担う若者を対象に先進地への視察や先進地から講師を招いてのセミナーの開催などに継続して支援し、商店街で新たなイベントなどの取組につなげていただく、活性化に何が必要なのか導き出しているところ。美幌町の立地条件や観光資源に適した宿泊施設の誘致を含め、積極的に取り組みたい。

タブレット端末を導入します

令和4年2月7日に開催されました令和4年第2回美幌町議会臨時会において、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、感染症の流行時においても正常な議会、会議の運営が可能な環境を整えるとともに、ペーパーレス化による資料の一元管理と情報共有など、会議の効率化を図るため、会議（文書共有）システム及びタブレット端末の導入にかかる予算を可決しました。

美幌町議会では、令和3年8月5日に「議会改革・活性化調査研究特別委員会」を設置し、コロナ禍に関わらず住民とのコミュニケーションを確保することや議会の情報発信など議会機能を十分に発揮するために議会ICT化に向けた協議を進め、12月に議会として会議（文書共有）システム及びタブレット端末を導入する方針を決定したところです。

紙資源などの環境に配慮するだけでなく、議員が集まることができないコロナ禍や災害時などの緊急事態が生じたオンライン会議での使用や定例会、常任委員会など、あらゆる議会活動を目的としています。

議会のデジタル化により情報共有と発信を強化し、町民との懇談においても議論が深められるよう議会活動に活用してまいります。

議会ICT推進事業 総事業費867万6千円

【内訳】	・備品購入費（タブレット端末機）		
	iPad Pro (128GB 12.9インチ Wi-Fiモデル)		
	40台（議員分14台・職員分24台・予備2台）×151,250円		605万円
	・消耗品費（タブレット端末アクセサリ）		
	Apple Pencil 40本×15,950円		63万8千円
	端末機カバー 40台×11,800円		47万2千円
	・使用料及び賃借料		
	システムライセンス利用料金・クラウドサービス利用料金	1式	80万8千円
	・委託料		
	操作研修委託料	1式	27万5千円
	・修繕料		
	議場内OAフロアコンセント増設	1式	44万円

※ 世界的な半導体不足により、導入しようとするタブレット端末の納期が年度内に見込める状況にはないことから、予算を翌年度に繰り越して納入手続を行います（繰越明許費といいます）。

導入に向けた取組経過

- ・平成30年3月 議会運営委員会クラウドシステム研修会（斜里町議会）
- ・平成30年4月 議会運営委員会行政視察
（神奈川県寒川町議会及び南足柄市議会）
- ・令和3年8月 議会改革・調査研究特別委員会設置
- ・令和3年9月 デモンストレーション（会議システム操作体験）
実施
- ・令和3年11月 ICT導入委員会設置
- ・令和3年12月 デモンストレーション（会議システム操作体験）
実施、会議（文書共有）システム及びタブレット
端末導入方針決定



会議(文書共有)システム及び

目 的

「開かれた議会」のなお一層の実現と、効率的で迅速な議会運営、議会の活性化など、さらなる議会改革により町民に信頼される議会とするため、その有効手段の1つとして議会におけるICT技術の積極的活用を推進する。

基本的な考え方

- ◆効率化・活性化など議会改革を積極的に推進する。
- ◆ICTを積極的に活用した新たな議会運営を行う。
- ◆議会への町民の参加機会の拡大と関心の向上を図る。
- ◆議会情報をわかりやすく町民に提供する。

活 用 方 法

- ◆議会運営の効率化
 - ・システム上には過去の議案や資料を含めて収納され、インターネット上にて会議録や各種行政情報も検索できることから、タブレットを用いて議案審議が効率的に進められる。
 - ・災害時などにオンライン会議で情報共有や意思決定が可能となる。
- ◆迅速な情報伝達及び共有化
 - ・電話、FAX、郵送によることなく、議案、資料及び各種通知文書が電子データで各議員に送られるので、情報が詳細に即時に伝わる。
- ◆町民に対する説明の明確化
 - ・タブレットは持ち運びが容易で、資料などもカラーで閲覧できるので、町民に対する説明を明確に行える。
- ◆議会開催事務の効率化及び経費削減
 - ・議案、資料及び各種通知文書が電子データで各議員に送られるので、印刷・製本などの作業が不要となり、他の業務に時間を充てられる。



デジタル化の流れは議会にとどまらず、世界的な流れとなっており、美幌町議会にとってもデジタル化が進むことで、これまで解決できなかった課題や取組に可能性が生まれ、より身近な議会を目指すことができると考えております。また、地球環境への負荷低減につなげるため、ペーパーレス化が求められています。

このことから、議会ICT化を着実に進めてまいります。

1月臨時会

すべて原案どおり承認、可決、報告完了しました。
主な内容は次のとおりです。

専決処分の承認

◆令和3年度美幌町一般会計補正予算

- ・子育て世帯への臨時特別給付金の年内一括給付のため 1億1,599万4千円
- ・北京2022オリンピック冬季競技大会選手支援のため 71万1千円

動産の取得

◆自走式二軸破砕機 6,138万円



◆油圧ショベル 2,035万円



補正予算

◆一般会計

- ・住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業 2億8,316万4千円
- ・ふるさと寄附金にかかる関連経費 7,935万3千円
- ・新型コロナウイルス感染予防対策支援事業補助金 50万円

専決処分の報告

- ◆工事請負契約の一部変更（美幌町役場庁舎駐車場整備工事） 1億1,776万6千円
- ◆町道514号道路上の車両破損事故による損害賠償 7万6,160円

こんなことを決めました

2月臨時会

原案どおり可決しました。
主な内容は次のとおりです。

補正予算

◆一般会計

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した6事業 3,518万8千円

【内訳】公共交通事業者支援事業	220万円
検査キット配付事業	163万4千円
牛乳消費拡大推進事業	183万8千円
温泉施設牛乳無料提供事業	84万円
美幌峠レストハウス改修事業	2,000万円
議会ICT推進事業	867万6千円（詳細は18ページに掲載しております）

議会を傍聴しませんか

定例会は年4回（3月・6月・9月・12月）開かれ、議場入口にある受付票に住所及び氏名を記入いただければ、どなたでも議会を傍聴できます。

日程が正式に決まり次第、町ホームページなどでお知らせします。

議会ホームページもご覧ください

本会議開会中のライブ中継や常任委員会の開催日などお知らせしています。
美幌町ホームページから「美幌町議会」をご覧ください。

QRコードから
アクセスできます
こちら→



美幌町議会ホームページ閲覧件数

月日	会議名	閲覧件数
1月20日	第1回臨時会	36件
2月7日	第2回臨時会	36件
3月2日	第3回定例会 第1日	261件
3月3日	第2日	261件
3月4日	第3日	220件
3月7日	第4日	153件
3月8日	第5日	140件
3月9日	第6日	126件
3月14日	第9日	243件
3月15日	第10日	231件
3月16日	第11日	269件
3月17日	第12日	283件

あとがき

▼今冬は雪が多く除雪作業大変お疲れ様でした。新型コロナウイルスが猛威を振るい予断を許さない状況です。3回目のワクチン接種、手指消毒、マスク着用など感染予防対策を心がけましょう。

▼北京冬季五輪では一戸誠太郎選手と石田正子選手が日本代表として出場し、世界の強豪と競い合いました。その姿は多くの町民に勇気や感動を、子どもたちに夢と希望を与えていただきました。

▼令和4年度予算を議決しました。町民福祉の充実に役立つよう行政の執行を監視してまいります。
(晃央)

議会運営委員会

委員長	馬場 博美
副委員長	戸澤 義典
委員	岡本美代子
委員	上杉 晃央
委員	高橋 秀明